

# 「原子力発電に関する意識調査」 (調査結果の概要)

2013年3月  
株式会社 時事通信社

時事通信社は、1月11日から27日にかけて、「原子力発電に関する意識調査」を実施しました。調査は、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行いました（回答者数 1,352人）。

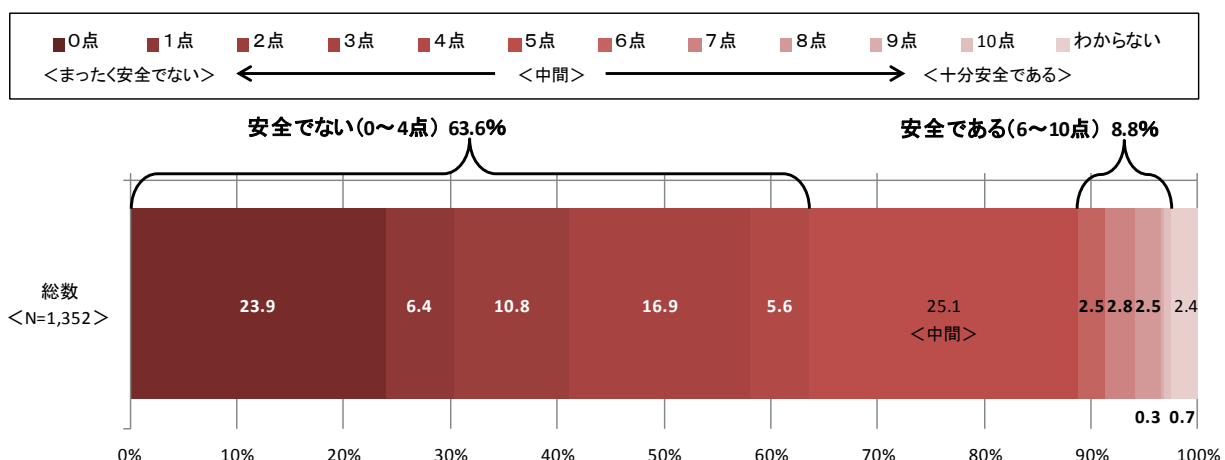
## 1. 原子力発電の安全性について

質問：あなたは、原子力発電の安全性についてどのように思いますか。「まったく安全でない」を0、「十分安全である」を10として、あなたのお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。



原子力発電所の安全性について、「まったく安全でない」を0、「十分安全である」を10として意識をたずねたところ、23.9%の人が「まったく安全ではない」(0)と答え、「安全ではない」と回答した人(0~4の合計)は、63.6%であった。一方、「安全である」と回答した人(6~10の合計)は8.8%であった。全体のおよそ4分の1(25.1%)は、「中間」(5)と回答した。(図1)

(図1) 原子力発電の安全性に対する意識



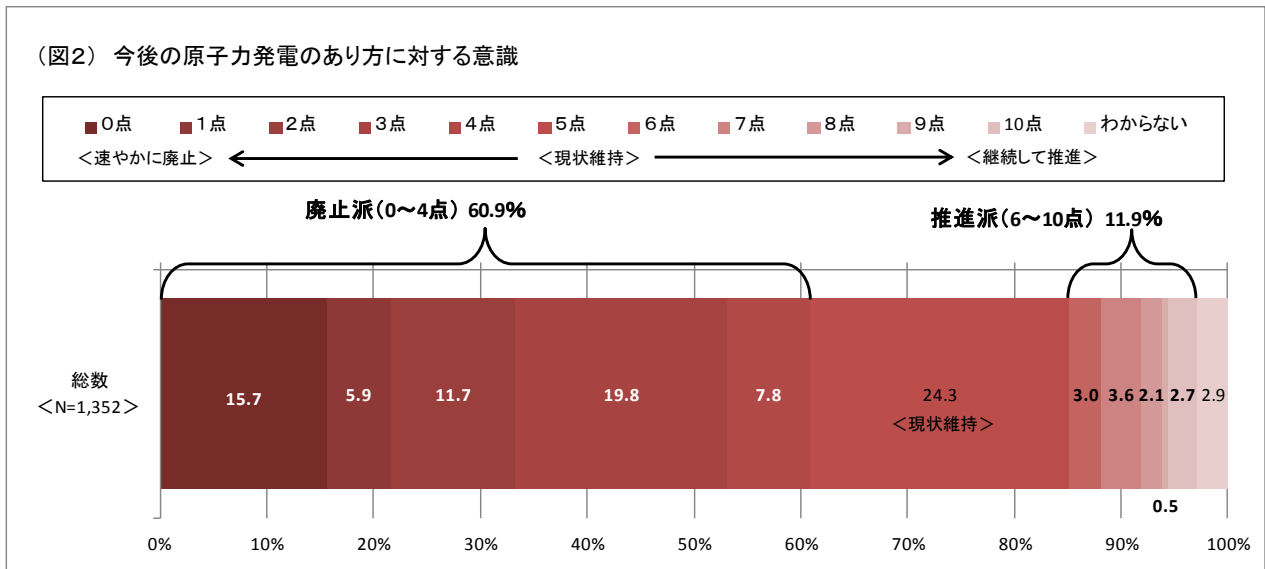
## 2. 今後の原子力発電のあり方について

質問：あなたは、今後の原子力発電のあり方についてどのように思いますか。「現状維持」を5、「速やかに廃止」を0、「継続して推進」を10として、あなたのお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。



次に、今後の原子力発電所のあり方について、「現状維持」を5、「速やかに廃止」を0、「継続して推進」を10として意識をたずねたところ、「現状維持」(5)が最も多く24.3%であった。廃止派(0~4の合計)は60.9%、推進派(6~10の合計)は11.9%であった。(図2)

(図2) 今後の原子力発電のあり方に対する意識



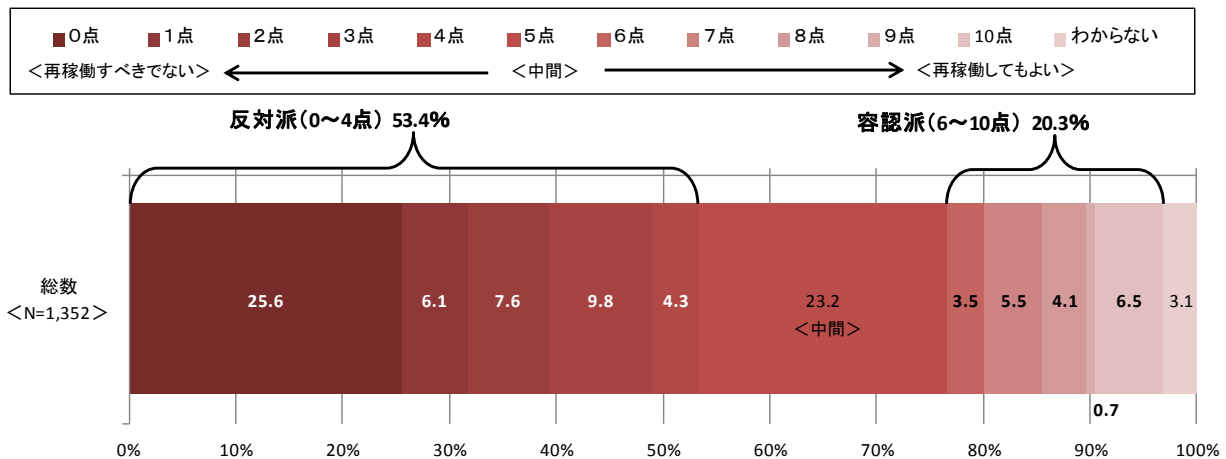
### 3. 原子力発電の再稼働について

質問：あなたは、定期点検で運転を停止している原子力発電所の運転再開、いわゆる“原発の再稼働”についてどのように思いますか。「再稼働すべきでない」を0、「再稼働してもよい」を10として、あなたのお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。



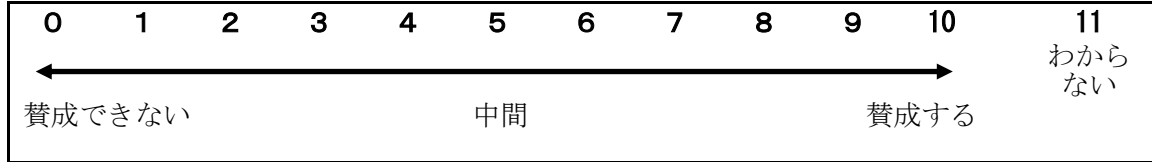
次に、原子力発電所の再稼働について、「再稼働すべきでない」を0、「再稼働してもよい」を10として意識をたずねたところ、「再稼働すべきでない」(0)が最も多く、全体の4分の1を超える25.6%で、再稼働反対派(0~4の合計)は53.4%であった。再稼働してもよいと回答した人(6~10の合計)は20.3%で、5人に1人は再稼働を容認している。(図3)

(図3) 原子力発電の再稼働に対する意識



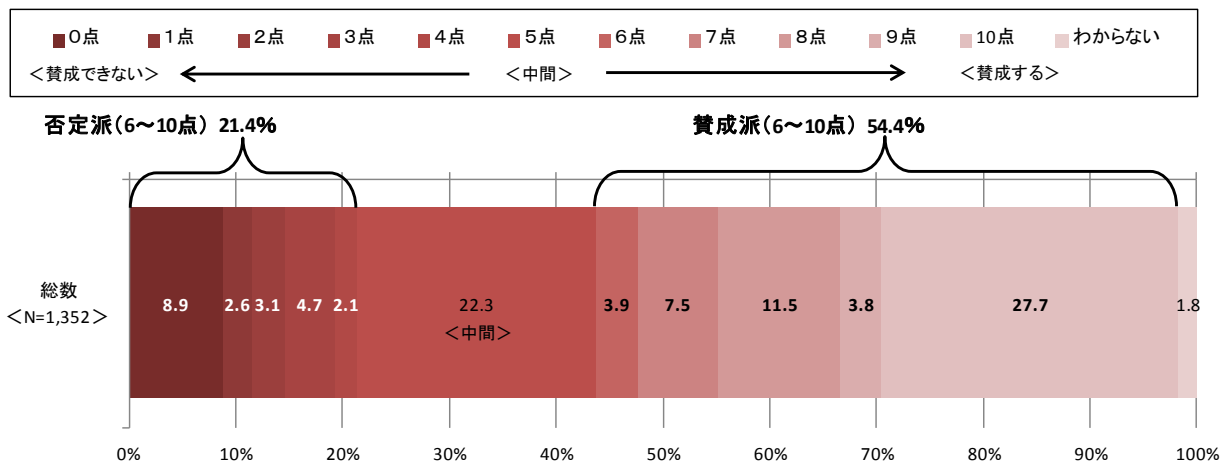
#### 4. がれきの受け入れについて

質問：あなたは、東日本大震災で発生したがれきを、お住まいの市区町村で、受け入れ処理することについて、どのように思いますか。「賛成できない」を0、「賛成する」を10として、あなたのお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。がれきの放射線量は国の基準を下回るものとお考えください。



次に、東日本大震災で発生したがれきの受け入れについて、「賛成できない」を0、「賛成する」を10として意識をたずねたところ、「賛成する」(10)が最も多く27.7%で、受け入れ賛成派(6~10の合計)は54.4%であった。一方、21.4%(0~4の合計)は、受け入れに否定的であった。(図4)

(図4) がれきの受け入れに対する意識



(調査の設計・方法など)

- 調査地域 全 国
- 調査対象 20歳以上の男女個人
- 標本数 2,000
- 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 調査時期 2013年1月11日(金)～27日(日)
- 有効回収数 1,352